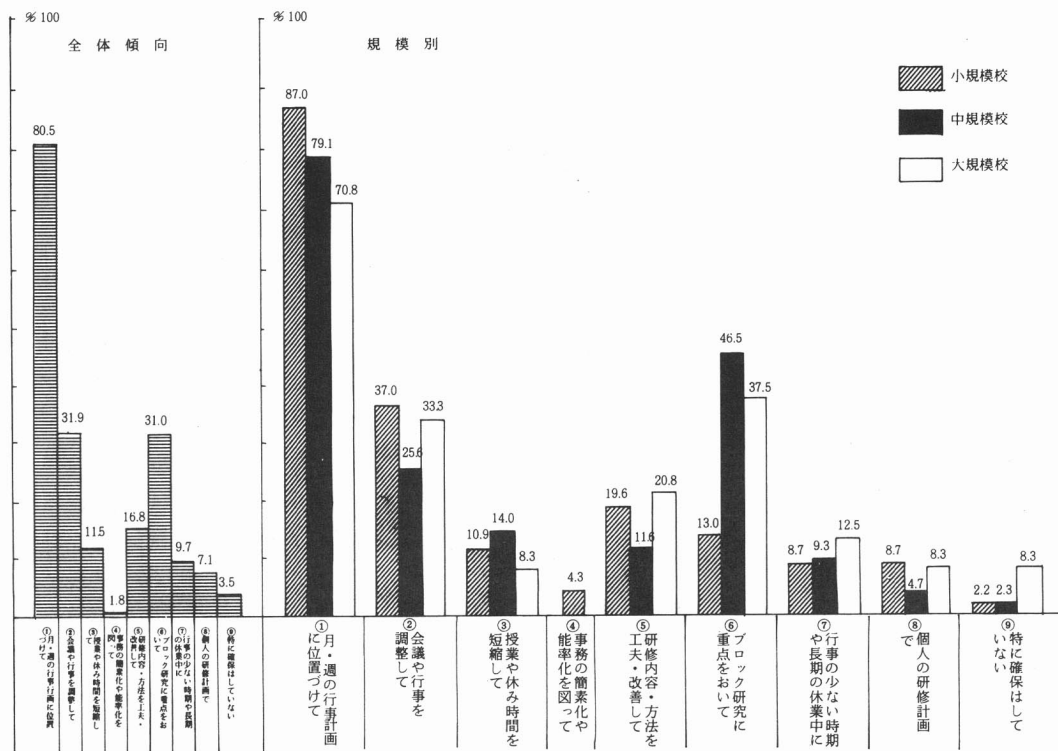


校内研修の時間確保の現状

問6 あなたの学校では、校内研修の時間をどのようにして確保していますか。(2項目選択)

図-12

N = 113



<考察>

全体的には、①の「月・週の行事計画に位置づけて……」が約81%、②の「会議や行事などの調整を行って……」約32%、⑥の「学年や教科などのブロック研究に重点をおくやり方で……」31%、⑤の「研修の内容・方法などを工夫・改善して、……」約17%などとなっており、①の方法によって校内研修の時間を確保している学校が圧倒的に多い傾向にあることがわかる。しかし、現状においては、まだ、③の「授業や休み時間の短縮を行って……」が約12%と多いことや、⑧の「個人の研修計画により……」が約7%あることは、教育課程の完全実施の面や、個人にまかせきりになる恐れがあることなどから問題であろう。さらに少数ではあるが⑨の「特に確保はしていない」が約4%あることは校内研修推進上、極めて問題である。

規模別でも、①が圧倒的に多いが、まだ校内研修の時間を行事計画に位置づけていない学校が、規模が大きくなるほど多くなっていることは問題であり、早急な改善が望まれる。また、中・大規模校で⑥が多いことは実状を反映しているようであるが、今後⑦のような長期の休業期間だけの時間の確保や⑤の方法については、学校規模をとわず、さらに検討していく必要がある。

以上みてきたように、これら問題点の要因には計画の位置づけはなされていても目先の都合から後まわしにされること、時間のわりには成果の少ない運営の仕方、研修時間だけを「研修」と考えられている風潮などがあるように思われる。

したがって、改善の方向としては、

- 規模別の特性にあった研修時間確保の工夫
- 主題にかかわる個人研修の成果を生かした校内研修の充実
- ブロック研究の重視や長期休業日の活用 などが考えられよう。